

-東洋大陸上部の佐久間さん- **箱根駅伝優勝を報告**



1月2・3日に行われた第88回東京箱根間往復大学駅伝(箱根駅伝)で優勝した東洋大の陸上競技部員、佐久間建さん(同大2年)が6日、田村市役所を訪れ、富塚市長に優勝を報告しました。

佐久間さんは船引中から田村高を経て東洋大へ。今大会のエントリー選手14人に選ばれていた佐久間さんは、当日は復路6区の付き添いとして同大の圧倒的勝利を陰から支えました。

富塚市長から、圧倒的な強さでの優勝を称賛され、佐久間さんは「エントリー選手に選ばれていたものの本番で走れず残念です。来年こそはぜひレギュラー選手として箱根路を走りたい、応援をよろしく願います」と応えました。

**末永くお元気で**  
-橋本チヨノさんに百歳賀寿-

1月10日に満百歳を迎えられた橋本チヨノさん(船引町芦沢)。

県から県知事賀寿と記念品、富塚市長から賀寿と祝金が贈られました。また、市社会福祉協議会、船引町老人クラブ連合会からそれぞれ賀寿と祝金、桜美苑から花束が贈られました。

チヨノさんは、終始にこやかに賀寿等を受け取っていました。長生きの秘訣は、「人とのふれあいを大事にすること」とのことです。



**阿武隈川上流児童図画コンクール**



阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会主催により福島テルサ(福島市)で12月28日、表彰式が行われ、県内の小学生からの応募総数393点から、図画部門で中島杏那さん(滝根小3年)が協議会長賞優秀賞を受賞しました。

このコンクールには市内の小学生からも多数の応募があり、応募された作品全てに、自分たちが住む地域の自然・生活環境や地球環境を守ることにに対する想いが感性豊かに描かれていました。

**We Love トンボ絵画コンクールで金賞**



11月19日に朝日新聞東京本社で第26回 We Love トンボ絵画コンクールの表彰式が行われました。小学1年生27,926点の応募の中から、常葉小学校1年吉田有里さんの作品が金賞(全国で3点)に選ばれ、「金賞・トンボ学生服賞」を受賞しました。

**田村市内全校で給食スタート**



田村市学校給食センターで1月10日、給食の調理が始まり市立小学校17校、中学校7校、幼稚園8園の児童、生徒約4,100人に温かい給食が届けられました。

センターの稼働により、これまで給食が実施されていなかった船引・船引南・移・大越の各中学校でも生徒や保護者が待ち望んでいた給食がスタートしました。

このうち船引中では、教育委員会と生徒のふれあい給食交流会が開かれ、3年3組の生徒と助川教育長、根本校長と一緒に食卓を囲みました。

この日の献立ではご飯、鶏のから揚げ、ごぼうサラダ、七草すいとんと牛乳。生徒たちは「給食は小学校以来」、「やはり温かいご飯はおいしい」と待望の給食を満喫しました。

市では、滝根・常葉両給食センターの老朽化に伴い、市内全校の給食を調理するセンターを常葉町に建設。これによって給食の未実施校がなくなりました。

給食で使う食材は放射線測定検査を実施、安心・安全な食事を提供しています。

**高齢者の見守りに関する協定書を締結**

市は、市内に新聞を配達している新聞販売店8事業所と高齢者の見守りに関する協定書を昨年12月19日に締結しました。

毎日の業務を通して地域に精通している新聞販売店と連携し、高齢者の生活を見守り、安全で安心して生活できる地域社会づくり実現の連携強化が進められます。

今回の協定を締結したのは、新聞センターを運営する佐原新聞店、舞木新聞店、矢吹新聞店、毎日民報田村東部販売



センター、たむら農業協同組合、酒井新聞店、石井新聞店、三春集報社の8事業所です。

締結式で富塚市長は「高齢者の安全確保のために、温かいまなざしで見守り、市民の安全安心を守る一翼を担ってほしい」とあいさつ。

新聞販売店8事業所の代表で、たむら農業協同組合富塚正組合長が「地域の一翼を担う立場からお年寄り世帯の見守りに協力します。」と述べ、高齢者の見守りに関する協定書を取り交わしました。